

## 基本計画

# 第4節 教育文化

## 個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり

### 1 生涯学習の推進

- 1 生涯学習の推進 ..... 188
- 2 文化・芸術活動 ..... 192
- 3 文化財の保護 ..... 195
- 4 図書館 ..... 198
- 5 青少年健全育成 ..... 200

### 2 生涯スポーツ・スポーツ文化

- 1 生涯スポーツ・スポーツ振興 ..... 203

### 3 学校教育

- 1 義務教育 ..... 206


 第1項  
生涯学習  
の推進

# 1 生涯学習の推進

## 個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり

### ◆現状と課題

- 少子高齢化や情報化、国際化など社会の急激な変化に伴い、市民の生涯学習に対するニーズは多様化、高度化し、生涯を通して学習する文化的、健康的な生活を求める傾向が高まってきています。
- 市民意識調査では、「今後何らかの生涯学習を行いたい」という回答が8割近くあり、市民の学習意欲は高いことがわかります。
- 一人ひとりが生涯を通して充実した学習活動ができるよう、活動拠点となる生涯学習センターの設置を望む人々が多くなると予想されます。
- 現在、生涯学習活動の多くは、中央公民館と南部公民館で集中して行われていますが、中央公民館では施設等の老朽化が進んでいる一方、子育て中の市民等の利用者も増加していることから、託児ルームなどの整備も含めた改修が必要となっています。
- 各種講座の開催案内や自主的なサークル活動状況など生涯学習に関する情報は、広報の掲載や冊子の作成・配布を行っていますが、新規の受講生が少ない状況です。
- 中央公民館・南部公民館の利用にあたっては、現在各施設の窓口で申請を受け付けており、各家庭や職場からインターネットなどを利用した利用申請ができるようなシステムの整備が求められています。
- 市内小中学校における教育活動の場や市民の休養及び健康増進を図る場として建設された野外教育センターの施設設備の充実や友好自治体所有の施設の利用も望まれています。

### ◆施策のめざす将来の姿

- 市民が仕事や生涯学習活動などをしながら、安心して楽しく学習できる環境が整っています。
- 若者から高齢者までが、継続して生涯学習機会を得て、生きがいのある人生を送ることができます。

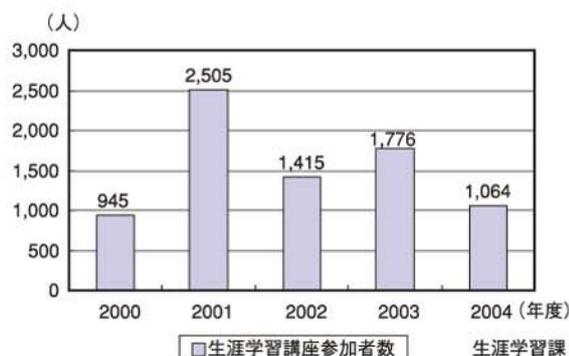
### ◆現状と目標値

基本成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
生涯学習施設の数や設備に対する満足度(%)	66.9	71.0	76.0
生涯学習講座のメニューや数に対する満足度(%)	67.6	73.0	77.0
生涯学習の情報提供量・種類に対する満足度(%)	64.4	70.0	74.0

◆施策の体系



生涯学習講座参加者数の推移



## ◆施策の内容

## (1) 生涯学習の拠点整備

## ①生涯学習センターの整備

市民の生涯学習に対する多様なニーズに対応し、市民がいつでも生涯学習活動に取り組めるようにするため、既存の公共施設を有効活用して総合的な活動拠点となる生涯学習センターの整備に努めます。

## ②中央公民館の改修

公民館利用者のニーズに対応し、幅広い層の市民が利用できるようにするため、老朽化の進む中央公民館の改修や託児ルームの設置などに努めます。

## ③南部公民館の利用促進

多様化するニーズに対応した生涯学習機会を提供するため、平日の夜に講座を開講するなどして、南部公民館の利用促進に努めます。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
公民館利用件数(件)	2,286	2,450	2,600
生涯学習に取り組んでいる市民の割合(%)	38.3	44.0	50.0

## (2) 生涯学習の充実

## ①生涯学習メニューの充実

市民の関心が高い分野の生涯学習機会を提供するため、市民の声を幅広く収集・把握し、ニーズに応じた講座を提供します。また、各種講座の講師として活躍できるような技能や経験を有する市民の発掘と育成を進めるとともに、生涯学習サークルなどと連携した市民の自主運営による講座や発表機会の拡大を支援します。

## ②生涯学習情報の充実

誰もが気軽に生涯学習に取り組めるようにするため、市及び各種団体が実施する生涯学習講座等の情報をホームページに掲載するなどして、市民により広く発信し、市民の積極的な参加を促します。

また、公民館講座の参加申込みや公民館の利用申請などを、自宅からインターネットによりできるよう、システムを整備します。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
生涯学習の講座・教室の参加者の割合(%)	30.9	35.0	40.0

### (3) 野外活動事業の充実

#### ① 野外教育センターの整備

豊根村にある野外教育センターの施設等が老朽化しているため、利用しやすくなるよう整備を進めます。

#### ② 友好自治体の施設利用

市民に自然とふれあう機会を積極的に提供するため、豊根村及び長野県上松町の施設を有効に利用できるよう友好自治体との連携を深めます。

#### ◆ 主要事業

事業名	事業主体	事業概要	事業期間	
			前期	後期
生涯学習センター整備事業	市	生涯学習の拠点となるセンターの整備		○
公民館改修事業	市	中央公民館における老朽化への対応など		○
生涯学習情報のIT化推進事業	市	公民館利用申請のIT化	○	

#### ◆ 市民まちづくり会議からの提案

#### 地域活動へのソフトランディング「生きがい教室」の開講

◆ 団塊の世代の定年退職や少子化・高齢化の進展を踏まえ、元気な高齢者が地域活動を担うしくみづくりが大きな課題である。

◆ そこで、定年退職者や子育てを終えた母親などを対象とした「生きがい教室」を開講・運営し、これからの地域活動を担う人材を輩出する。

- ① 生きがい教室開講に向け、カリキュラムやテキストを作成し、講師を募集する。
- ② 生きがい教室の中で地域活動に関する講義や実習を行う。
- ③ 生きがい教室修了者が「私の活動メニュー」を作成し、人材バンクに登録し、地域活動を実践する。



第1項  
生涯学習  
の推進

## 2 文化・芸術活動

### ◆現状と課題

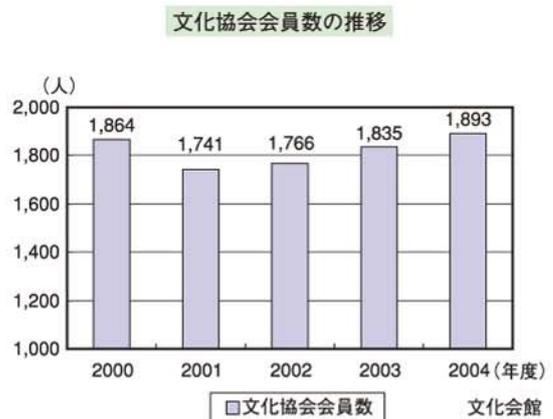
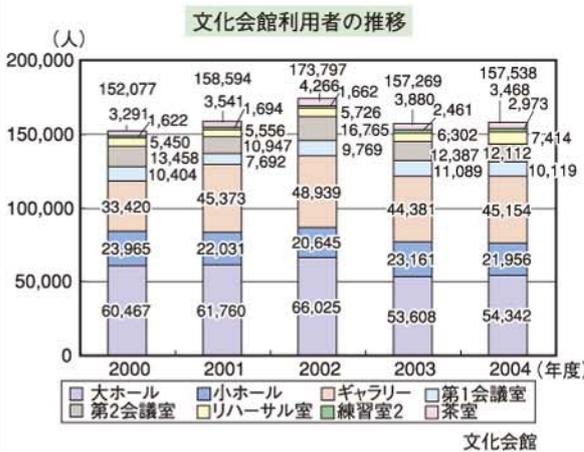
- 誰もが取り組める文化活動や質の高い芸術にふれることは心豊かで文化的な市民生活を送るために有意義であると考えられます。
- 文化会館では、市民の皆様が親しまれる文化・芸術活動の拠点となるよう、各種事業に取り組んでいますが、入場者数の増加は十分とはいえない状況です。
- 多彩な文化的事業を展開している文化協会については、賛助会員の拡大や新規加入会員の増加により、自立した運営が求められています。
- 茶室「樺庵」をより一層利用しやすい環境にし、利用者の増加を図ることが望まれます。

### ◆施策のめざす将来の姿

- 文化会館が市民に身近で親しまれる存在となり、市民が気軽に訪れることができる場所になっています。
- 市民の文化芸術に対する関心が高まり、「文化が開花しているまち」になっています。
- 日常生活のなかで、文化にふれる機会に恵まれ、ゆとりある生活環境が整っています。

### ◆現状と目標値

基本成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
文化施設の数や設備に対する満足度(%)	66.0	70.0	75.0
市主催による芸術文化活動に対する満足度(%)	71.9	75.0	80.0



## ◆施策の体系



## ◆施策の内容

### (1) 文化事業・イベントの充実

#### ①市民フェスティバルの充実

より多くの市民が市民フェスティバルに参加できるよう、多彩な内容を盛り込み、魅力あるイベントを開催するよう努めます。

#### ②文化ボランティア組織の推進

幅広い文化活動が展開できるようにするため、文化事業の企画・運営をサポートする文化ボランティアの仕組みを整え、市民の手による文化活動の充実に努めます。

#### ③自主事業のPR

文化会館が開催する自主事業及び年間事業をより多くの市民に周知するため、市広報、ホームページ、新聞などへの掲載によるPRに努めます。

また、自主事業チケット販売についても、民間事業者との連携やインターネットによる販売などについて検討し、売り上げの向上に努めます。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
市民フェスティバル入場者数(人)	1,200	1,500	1,800
文化ボランティア人数(人)	0	30	50
チケット販売率(%)	74.3	80.0	85.0

### (2) 文化活動の育成・支援

#### ①文化協会の自立支援

文化協会が今後も市民の手による文化活動の推進的役割を果たすため、文化協会の自立に向けての支援を行うとともに、賛助会員の拡大、新規加入会員の増加に努めます。

#### ②地域文化祭への助成の充実

地域の文化祭の取り組みについて、より多くの活動が進展するよう、従来の事業だけではなく新しい文化事業にも助成できるよう検討します。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
文化協会加入会員数(人)	1,893	2,000	2,200
文化協会賛助会員数(人)	180	200	220

### (3) 文化施設の充実

#### ①美術品の展示場所の確保

市民がより多くの美術品にふれることができるよう、文化会館、市役所の中に展示場所を確保し美術品を常設展示できるように努めます。

#### ②茶室「樺庵」の充実

茶道の経験がない市民でも気軽にお茶を楽しむことができるようにするため、立礼式\*（椅子席）や季節に応じた野点\*の席（お茶会）の充実に努めます。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
茶室「樺庵」利用者数(人)	576	640	700

### ◆主要事業

事業名	事業主体	事業概要	事業期間	
			前期	後期
ボランティア組織の設立事業	市・市民	自主事業の運営と市民ニーズの把握	○	
文化協会の法人化事業	市・文化協会	賛助会員の増員と団体の自立化		○



## 3 文化財の保護

- ◆**現状と課題**
- 本市が誇る有形・無形の文化財は、市民の財産として受け継がれてきたものであり、これからも次代に託していかなければならない大切なまちの宝です。
  - 貴重な民俗資料を整理・保管し後世へ伝承するため、唐竹小学校の一部を改築して歴史民俗資料室として活用していますが、資料等を収蔵するためのスペースが十分確保できていないことが課題となっています。
  - 豊明の歴史資料を残すため豊明市史の編集に取り組んでいますが、購読者が専門的に学習している人などに限られているため、市民にとって身近な読み物にする必要があります。
  - 二村山や大狭間湿地など現存する貴重な自然環境を維持するため保護に努めていますが、周辺地域を含めた一定範囲での環境保全も図っていく必要があります。
  - 希少種を絶滅の危機から守り、人々に自然環境保護の重要性を喚起するため、ナガバノイシモチソウ自生地を保護を継続する必要があります。
  - 本市は、古戦場をはじめ由緒ある歴史的遺産を有しており、これらを保存・継承して行くため市民へのPRを行っています。今後も、市民への文化財保護の意識を広げるため、専門的な指導者による啓発が求められます。
  - 地域の祭りとして伝承されてきた無形民俗文化財を地域の伝統的文化として後世へ伝えるため、地域による継承に対して支援して行く必要があります。

### ◆施策のめざす将来の姿

- 市民が地域にある豊明の歴史・文化・自然にふれることにより、自分たちのまち豊明に誇りと愛着心を持っています。

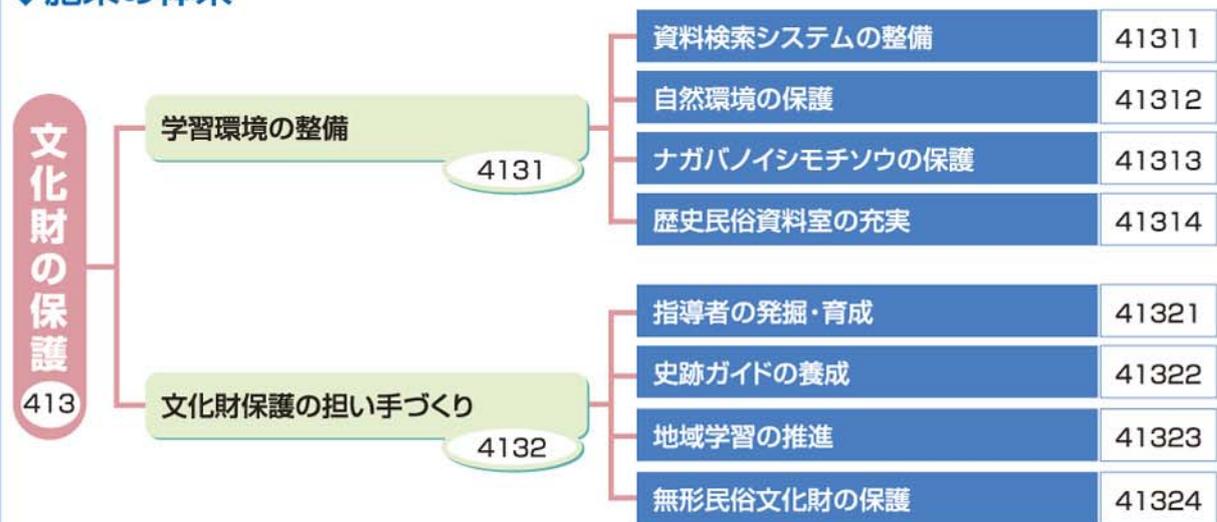
### ◆現状と目標値

基本成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
文化財関係講座の参加者数(人)	150	200	300

文化財の指定状況

種別	件数
国指定史跡	3
県指定無形民俗文化財	1
県指定天然記念物	1
市指定無形民俗文化財	2
市指定有形文化財	13
市指定天然記念物	1

## ◆施策の体系



## ◆施策の内容

## (1) 学習環境の整備

## ①資料検索システムの整備

学習者が学びやすい環境づくりを行うため、市史編纂の基礎となる資料の管理を行うとともにデータベース化し、検索システムを整備します。

## ②自然環境の保護

失われつつある貴重な自然環境を適切に保護するため、二村山や大狭間湿地の生態調査を継続します。

## ③ナガバノイシモチソウの保護

ナガバノイシモチソウを絶滅の危機から守り、自然な状態で保護するため、学識経験者の指導のもと、遺伝子解析をはじめとする研究を継続します。また、一般公開を通して自然環境保護の重要性についての関心を高めます。

## ④歴史民俗資料室の充実

歴史民俗資料については、散在する資料を適切に保管するため、収蔵スペースの確保に努めます。また、小中学校における総合的な学習の時間との連携により、資料室の有効活用を図り、歴史民俗に関する学習意欲を高めます。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
歴史民俗資料室年間見学者数(人)	590	650	700

## (2) 文化財保護の担い手づくり

### ①指導者の発掘・育成

文化財に対する市民の愛護意識を醸成し、文化財の適切な保護を推進するため、文化財保護委員を始めとする専門的な知識を持った指導者の発掘・育成に努めます。

### ②史跡ガイドの養成

史跡に関心を持つ市民の史跡や歴史についての学習機会を増やし、専門性を高めることのできた講座受講者が史跡ガイドとして活躍できるよう工夫します。

### ③地域学習の推進

市民の郷土に対する誇りや愛着心を高めるため、郷土史学習を進めます。また、教材としての市史の活用や地域住民による郷土づくりなどの支援に努めます。

### ④無形民俗文化財の保護

古くから郷土に伝わる無形民俗文化財を保存・継承するため、各種保存会を始めとした地域住民による継承と後継者育成を支援します。

## ◆主要事業

事業名	事業主体	事業概要	事業期間	
			前期	後期
歴史民俗資料室一般公開事業	市	歴史民俗資料室を一般公開する	○	○
歴史関係講座事業	市	郷土の歴史に関する市民講座を開催する	○	○



第1項  
生涯学習  
の推進

# 4 図書館

## ◆現状と課題

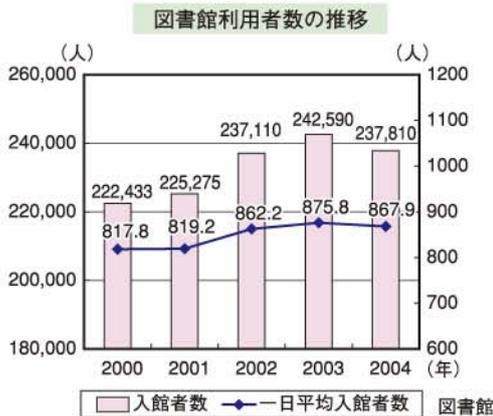
- 図書館は読書センター・学習情報センターとして重要な施設であり、市民のニーズに応える蔵書・資料の充実が求められています。
- 利用者から「休憩室がない」など施設改善の声が寄せられており、その声に応じていく努力が必要です。
- 市民の生活スタイルが多様化しており、図書館を利用したい時間帯も様々であることから、利用者のニーズにより開館時間の拡大などサービスの向上を図る必要があります。

## ◆施策のめざす将来の姿

- 読書センター・学習情報センターとして市民に「愛され、親しまれる図書館」になっています。
- 蔵書の充実やネットワーク化により図書館の利用がしやすくなっています。

## ◆現状と目標値

基本成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
図書館の設備や蔵書数に対する満足度(%)	70.0	75.0	80.0



### ◆施策の体系



### ◆施策の内容

#### (1) 施設の充実

##### ①蔵書・資料の拡充

利用者のニーズの多様化に対応し、適切な蔵書・資料の充実と周辺都市や県立図書館などとのネットワーク化の拡充を図ります。

##### ②施設のリフォーム

長時間読書を楽しんでいる方が少しの間休める憩いの場所を提供するなど、快適な図書館空間の整備を進めます。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
蔵書・資料数(冊)	240,000	280,000	320,000

#### (2) サービスの向上

##### ①開館日及び開館時間の拡大

多様化する利用者のニーズに対応し、より多くの市民が図書館を利用できるようにするため、開館日及び開館時間を拡大します。

##### ②ボランティアの拡大

市民の自主的なボランティア活動を生かし、図書館サービスの向上を図ります。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
市民一人当たりの貸し出し冊数(冊)	6.0	8.0	10.0
図書館ボランティア数(人)	50	70	80

### ◆主要事業

事業名	事業主体	事業概要	事業期間	
			前期	後期
蔵書・資料拡充事業	市	蔵書・資料の適切な充実・拡大を行う	○	○
図書館リフォーム事業	市	休憩室の設置		○

第1項  
生涯学習  
の推進

## 5 青少年健全育成

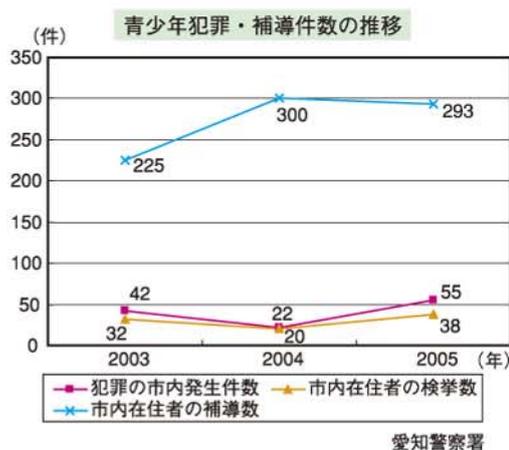
- ◆**現状と課題**
- 近年、子どもを取り巻く環境は大きく変わり、青少年が犯罪の被害者となったり、あるいは加害者となったりする事件が発生しています。地域ぐるみで青少年の健全な育成を推進する社会づくりが求められます。
  - 青少年の健全な心と体を育み、社会性を養うために、生活体験、社会体験や自然体験を通して様々なことを学べるような機会を提供する必要があります。
  - 多感な思春期の時期に子どもが家庭のなかで家族に相談でき、心豊かな人間関係づくりができるよう家庭の教育力の向上が必要です。
  - 青少年の問題行動を未然に防ぐ環境をつくるため、青少年問題協議会等の場を通して、地域が子どもや子育て家庭を見守り、支援する体制を整備することが求められています。

◆**施策のめざす将来の姿**

- 家庭・地域・学校・行政等が連携し、豊かな人間性、社会性を持った青少年が育っています。

◆**現状と目標値**

基本成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
青少年の健全育成に対する満足度(%)	68.2	75.0	80.0



## ◆施策の体系



## ◆施策の内容

### (1) 社会参加活動の支援

#### ①子どもの居場所づくりの推進

学齢期の子どもたちが、休日に様々な体験活動を行うことにより、生きがいなどを感じることができるよう、ボランティア・文化・スポーツ活動の場を家庭・地域・学校が連携して設置し、子どもの居場所づくりを支援します。

#### ②地域リーダーの育成

青少年のリーダーとしての資質を有する人材を地域の中から発掘し、指導者育成講座や指導者交流会の機会などを通して地域リーダーの育成に努めます。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
地域活動への青少年の参加者数(人)	30	100	130

### (2) 家庭教育力の向上

#### ①家庭教育学級の充実

家庭における教育力を高めるため、子育てに関する不安を軽減できる相談体制の充実や親同士が情報交換をしながら子育てについて学び合うことのできる家庭教育学級を継続します。

#### ②家庭教育学級卒業生の活用

子育てに取り組んでいる家庭を支援するため、家庭教育学級の卒業生の協力による子育てに関する学習機会や交流会を開催します。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
家庭教育学級在籍学級生(人)	364	380	390

### (3) 青少年の非行防止活動の推進

青少年問題協議会を始め、家庭教育推進協議会などの団体と連携して、地域ぐるみで家庭教育について話し合えるような活動を推進します。

また、各区青少年健全育成推進委員会と連携を取り、見守り活動や相談活動等が計画的、継続的に行うことができる体制をつくります。

#### ◆主要事業

事業名	事業主体	事業概要	事業期間	
			前期	後期
家庭教育推進事業	市	家庭教育学級の開催	○	○
青少年リーダー育成事業	市	各地区の青少年リーダーを養成する養成講座を開催	○	○





第2項  
生涯スポーツ  
・スポーツ文化

# 1 生涯スポーツ・スポーツ振興

## ◆現状と課題

- 生活スタイルが多様化するなかで、余暇の過ごし方も様々となり、スポーツに取り組む機会の減少傾向も見られます。心身の健やかな成長や健康づくりという点から生涯を通してスポーツや運動を行うことは大切です。
- 市内のスポーツ施設は老朽化しているものもあり、改修が求められています。また、スポーツ人口の増加に伴い施設が不足しているため、学校体育施設の有効活用を進めています。
- 豊明市スポーツクラブを総合型地域スポーツクラブへと組織化していく必要があります。
- とよあけマラソンを始めとするスポーツイベントへの参加者の確保が課題となり、運営方法などの改善が求められます。
- スポーツ教室の運営改善及びスポーツ教室やスポーツクラブの指導者の確保・育成などが求められています。

## ◆施策のめざす将来の姿

- スポーツ施設の充実により、市民が生涯スポーツを楽しむことのできる環境が整っています。
- スポーツ団体が充実し、市民がスポーツに親しむ機会が豊富にあります。
- 魅力あるスポーツイベントによって、スポーツに関心を持つ市民が多くなります。

## ◆現状と目標値

基本成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
スポーツ施設の数や設備に対する満足度(%)	55.6	59.0	61.0
市主催のスポーツ教室等の数に対する満足度(%)	66.9	70.0	72.0



## ◆施策の体系



## ◆施策の内容

## (1) スポーツ施設の整備・充実

## ① スポーツ施設の整備

年間多くの市民が利用する施設の安全性を高めるため、スポーツ施設の整備を進めます。

## ② 学校体育施設の有効活用

地域住民が気軽にスポーツ活動ができるようにするため、学校教育活動に支障のない範囲で、学校の体育施設を開放して、多くの市民が利用できるよう検討します。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
市営体育施設(屋内施設及び屋外施設)の利用者数(人)	258,593	262,000	265,000

## (2) 生涯スポーツの充実

## ① とよあけマラソンの継続と参加者の増加

とよあけマラソンについては、市民はもちろん市外からも多数の参加者を確保するため、継続開催できるよう、PRの充実とともに運営の在り方を工夫します。

## ② レクリエーションスポーツの普及

生涯スポーツとして誰もが気軽に取り組める、レクリエーションスポーツの一層の普及のために種目、場所、時間などをより一層充実します。

## ③ スポーツ教室の充実

スポーツに対する市民の多様なニーズに対応するため、初心者向けや高齢者向けのクラスを設けるなど各種スポーツ教室の充実を図ります。

## ④ スポーツイベントの開催

市民に多種多様なスポーツについて周知するため、新しいスポーツの紹介や普及のための研修会などのスポーツイベントを開催します。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
とよあけマラソン参加者数(人)	3,931	4,000	4,000

### (3) スポーツ組織の育成と充実

#### ①スポーツ団体の育成

本市におけるスポーツの振興に寄与する体育協会・レクリエーション協会の体制強化を図り、スポーツ団体活動の充実を支援します。

#### ②総合型地域スポーツクラブの充実・推進

学校と地域が連携した豊明市スポーツクラブは、地域の指導者の協力を得て子どもたちに安定したスポーツの場を提供することができています。今後、対象を小中学生からより幅の広い年齢層にまで広げ、市民が積極的に参加できるよう地域に密着したスポーツクラブとするよう努めます。

#### ③スポーツクラブ指導員の発掘と資質の向上

スポーツクラブ指導者を増やすため、実技や講義を取り入れた種目別の研修会を開催し、指導員の養成や資質向上を図ります。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
スポーツクラブ指導者登録者数(人)	230	240	250

### ◆主要事業

事業名	事業主体	事業概要	事業期間	
			前期	後期
既設体育施設の改修事業	市	老朽化している施設の改修	○	○
とよあけマラソン開催事業	とよあけマラソン実行委員会	とよあけマラソンの開催を通じて、市内外の参加者に対してスポーツの楽しさを伝える	○	○
総合型地域スポーツクラブ事業	市	中学校区単位で、幅広い年齢層の市民が参加できるスポーツクラブを創設する	○	○




 第3項  
学校教育

# 1 義務教育

- ◆**現状と課題**
- 小中学校における児童生徒の生活は、家庭における生活とともに、豊かな人間性や社会性を育むうえで極めて重要であります。また、本市の次世代を担うことのできる人材づくりを支える教育環境の整備は、市民にとっても重要であり、本市の果たすべき役割は大きいといえます。
  - 子どもを取り巻く環境が大きく変化するなか、児童生徒によるいじめや少年犯罪などの問題があります。これらを未然に防ぎ、豊かな人間性を育むための、心の教育が求められています。
  - 地域によって児童生徒数が大幅に減少しており、特に小学校間の児童数の格差は顕著になっているため、学校規模の適正化について検討する必要があります。
  - 近年増加している児童や生徒が被害者となる事件や事故が起きないように、児童生徒が安全で安心な学校生活を送ることのできる環境整備が求められています。
  - 障害のある児童生徒の教育については、特別支援教育制度が導入されようとしています。
  - 地域住民、保護者と学校の連携による「開かれた学校づくり」を進めるとともに、地域住民の様々な活動の場として学校施設等の有効利用を図る必要があります。
  - 本市は、平成14年に東海地震の強化地域に指定され、校舎の耐震補強などの地震対策を早急に行うことが求められています。
  - 食に関する指導を健康教育の一環として位置付けるとともに、給食の地産地消の推進も求められています。
  - 学校給食衛生管理においてドライシステム<sup>\*</sup>の導入が基準とされており、施設の早期改善が求められています。

◆**施策のめざす将来の姿**

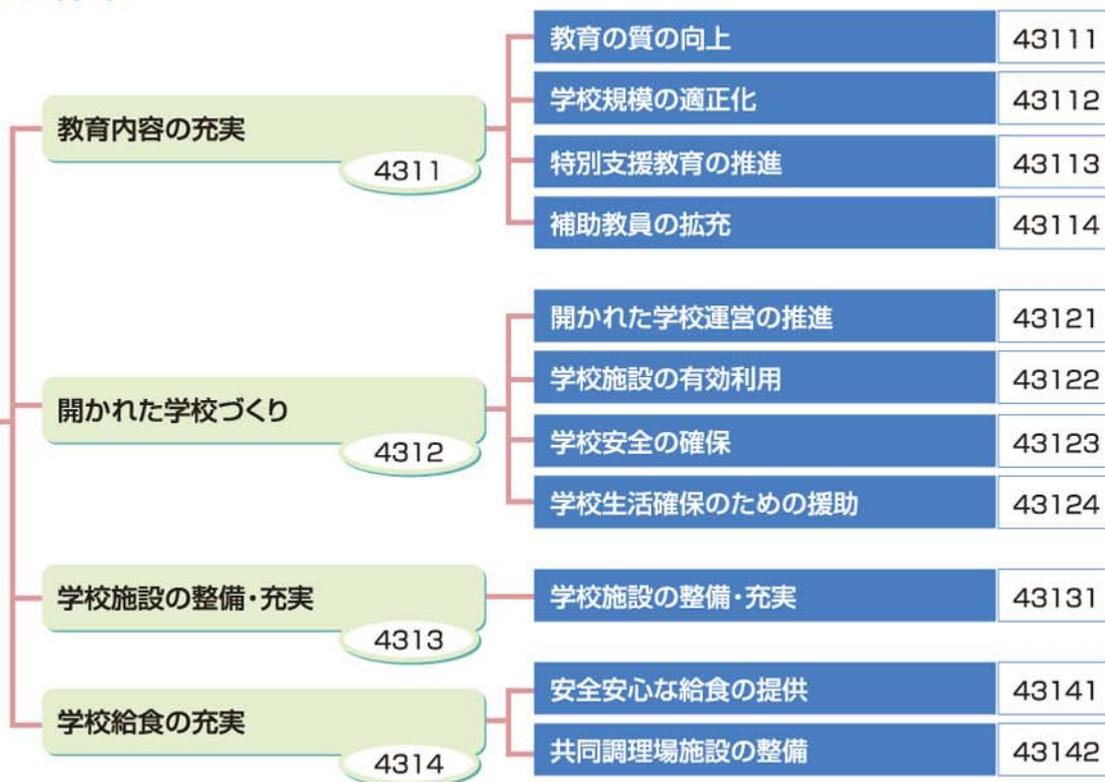
- 安全な教育環境が整い、個性豊かな児童生徒がのびのびと学校生活を送っています。
- すべての児童生徒に平等で適切な教育環境が整っています。
- 食育が推進され、児童生徒の食習慣が充実し、心身ともに健康な生活を送っています。

◆**現状と目標値**

基本成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
小中学校における教育内容に対する満足度(%)	70.4	75.0	80.0
学校・地域・家庭のコミュニケーションに対する満足度(%)	70.7	75.0	80.0

◆施策の体系

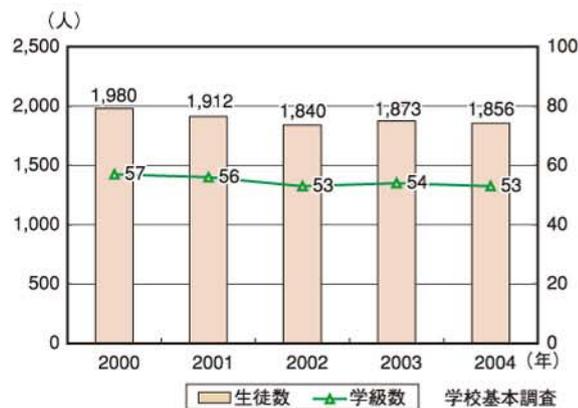
義務教育  
431



小学校の学級数・生徒数の推移



中学校の学級数・生徒数の推移



第1編  
序論

第2編  
基本構想

第3編  
基本計画

第1章  
基本フレーム

第2章  
まちづくりプラン

第3章

第1節  
生活環境

第2節  
保健福祉

第3節  
都市基盤・産業振興

第4節  
教育文化

第5節  
交流と市民参加

第6節  
計画推進

## ◆施策の内容

## (1) 教育内容の充実

## ①教育の質の向上

社会状況に応じた教育内容の変化に対応するとともに、教育内容の質の向上を図るため、教職員研修を充実します。また、いじめや青少年犯罪につながるような、道徳教育や人権教育を充実するとともに、豊かな心を育む生徒指導の充実に努めます。

## ②学校規模の適正化

小学校における児童数の学校間格差が大きくなってきています。このような格差を是正するために、児童や保護者や地域の意見を聞きながら学校規模の適正化を検討します。

## ③特別支援教育の推進

障害のある児童生徒に対して、一人ひとりの教育支援計画による特別支援教育の充実に努めます。

## ④補助教員の拡充

児童生徒の個に応じた指導や外国人の児童生徒への日本語教育などを積極的に支援して行きます。また、少人数指導を充実するため補助教員の充実に努めます。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
教職員研修の講座数(延べ日数)(日)	93	99	100
教職員研修の参加者総人数(人)	2,700	2,800	2,900

## (2) 開かれた学校づくり

## ①開かれた学校運営の推進

開かれた学校・信頼される学校づくりのために地域等の学校運営への参画、地域の教育資源の活用、さらに学校の教育資源の地域での活用等を一層推進します。

## ②学校施設の有効利用

学校運営に支障のない範囲で、市民の地域での様々な活動や生涯学習活動の場を確保するため、学校施設の積極的な有効利用を実施します。

## ③学校安全の確保

登下校や校内生活並びに校外生活における児童生徒の安全を確保するため、地域や関係機関の協力を得てパトロール活動やセキュリティ対策などを充実します。

## ④学校生活確保のための援助

児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、経済的な理由によって就学困難な保護者に対して、就学援助を行います。また、高等学校教育を受けるための補助を行います。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
学校開放の実施校数(屋内及び運動場を除く)(校)	7	9	12

## (3) 学校施設の整備・充実

学校施設の安全確保のために、定期及び随時の点検修繕を徹底するとともに、安全安心な生活環境、教育内容に応じた学習環境を創造するために物的・人的両面からの整備を進めます。

## (4) 学校給食の充実

### ①安全安心な給食の提供

地域で生産された食材や低農薬・無農薬野菜等の安全安心な食材を利用するとともに、発育期にある児童生徒の栄養バランスを配慮した献立等により、児童生徒の健康増進と望ましい食習慣の形成を大切にしたいおいしい給食を提供します。

### ②共同調理場施設の整備

共同調理場の老朽化に対応した施設改善を進め、あわせて施設全体のドライシステム化を図ります。

単位施策の成果指標	現状値	目標値	
	2004年	2010年	2015年
共同調理場のドライ化率(%)	20	50	100

### ◆主要事業

事業名	事業主体	事業概要	事業期間	
			前期	後期
学校EEEプロジェクト※	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活体験、社会体験、自然体験などの充実を図る</li> <li>きめ細かな指導や、小中連携教育等を推進する</li> <li>学校、家庭、地域の連携強化を図るとともに、学校規模の適正化について検討する</li> </ul>	○	

### ◆市民まちづくり会議からの提案

#### 地域セイフティネット

◆地域住民間の日常的なコミュニケーションやパトロール活動により、子どもの犯罪被害の未然防止や地域の青少年の健全育成を目指し、次のような活動を展開する。

- ①登下校する子どもたちに対して、あいさつ運動・声かけ運動を実施する。
- ②住民有志や保護者、PTAにより児童見守り隊を結成し、登下校時の安全を確保する。
- ③非行少年に関する情報や通報に対して、地域住民が警察と協力してパトロールを行う。



